

平成 30 年度

一般社団法人 奈良県作業療法士会

定時社員総会 社員総会参考書類



期日 平成 30 年 6 月 3 日 (日) 15 : 00 ~

会場 いかるがホール 小ホール

奈良県生駒郡斑鳩町興留 10 丁目 6 番 43 号

総会次第

1. 開会の挨拶
2. 議長選出
3. 総会議事録署名人 選出
4. 第一号議案 平成 29 年度 事業報告
5. 第二号議案 平成 29 年度 収支報告
6. 第一号、第二号議案に関する質疑応答並びに採決
7. 第三号議案 平成 30 年度 事業計画
8. 第四号議案 平成 30 年度 予算計画
9. 第三号、第四号議案に関する質疑応答並びに採決
10. 閉会の挨拶

平成 30 年度 入会者数 名

総会参加者数 名

委任状総数 枚

() %

役職	氏名	所属
【 理事 】		
会長	西井 正樹	白鳳短期大学
副会長	東條 秀則	秋津鴻池病院
副会長(事業局長)	大西 和弘	秋津鴻池病院
事務局長	毛利 陽介	白鳳短期大学
事務副局長	松山 和樹	田北病院
学術局長	辰己 一彦	UT ケアシステム
教育部長	木納 潤一	秋津鴻池病院
広報・啓発局長	前岡 伸吾	天理よろづ相談所病院 白川分院
地域局長	安井 敦史	UT ケアシステム
北和ブロック長	渡邊 俊行	関西学研医療福祉学院
中和ブロック長	北別府 慎介	西大和リハビリテーション病院
南和ブロック長	田中 陽一	奈良県総合リハビリテーションセンター
【 監事 】		
	金星 聡	奈良県総合リハビリテーションセンター
	土井 一輝	東大寺福祉療育病院

第一号議案 平成二十九年度 事業報告

会長

会長 西井正樹

大松前会長より平成 30 年度事業計画を引き継ぎ、実行した。前会長より引き継いだ事業計画は以下の 4 項目である。

1. 第 37 回近畿作業療法学会を成功させる

東條学会長、松本実行委員長、金星事務局長、実行委員・会員の皆さまのおかげをもちまして成功することができました。

2. 認知症を含めた地域包括ケアシステムに関する活動と体制の充実をはかる

認知症支援委員会、地域包括ケアシステム委員会等各種委員会の協力を得て、粛々とすすめていきました。

3. 外部啓発活動を強化する

奈良県知事との面会をはじめ、他団体の記念パーティー 5 回、県との会議 2 回、他団体との会議 3 回、研修会挨拶 6 回、近畿連絡協議会関連 4 回などに参加した。今年度は、会長の交代ということで覚えていただくことに力を注ぎました。

4. 会員の学術活動を強化する

総会にて会長就任後、平成 30 年度の補正予算を組み、研修会を増加しました。

副会長

副会長 東條秀則

会長・副会長との業務分担として以下のような活動を行った。

1. 日本作業療法士協会関連

1) 日本作業療法士協会定時社員総会

5 月 27 日 出席 OT 協会の県の代表としての代議員

2. 公益活動

1) 奈良県医師会

11 月 30 日 奈良県医師会創立記念式典

3. 啓発活動

1) 奈良県高等学校出張講座

12 月 7 日 奈良県高等学校校長会にて説明

副会長

副会長 大西和弘

事業部活動に加えて、西井会長・東條副会長のサポートを行った。

1. 3 役会会議出席

2. 近畿連絡協議会出席

事務局

財務担当

事務局長 毛利陽介

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する
 - 1) ゆうちょ銀行振替口座を利用し全ての納入した会員への対応が出来ている。
 - 2) ブロック事務局と連携して会費納入後の対応がスムーズに行えている。
2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る
 - 1) 1 2月には督促状を送付し、1月にはブロック財務と連携し未納者へ直接連絡し、未納者は 1 割未満となった、其の内半数は退職し連絡が取れない若しくは、退会希望者となっている。
3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する
 - 1) 支出の多い部局では各口座での管理を行っている。
 - 2) すべての部局は 4 半期ごとに決算を行い経費の管理を行っている。
4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う
 - 1) 平松税理士事務所と顧問契約を結んでおり、法令に準じて決算書を作成した。
 - 2) 各部局の協力を得て、所得税など法令に準じ適切に納税を行っている。
5. 財務会議を開催する
 - 1) 財務会議を行った。
6. 県士会データと会員管理システムにおけるデータの統一化を図る
 - 1) 年会費の入力などシステムを運用しているが、協会のデータと県士会のデータでは所属や会員番号など一部整合性に欠ける部分が見られ、完全な統一には至っていない。

総務担当

事務副局長 松山和樹

1. 会員情報管理の徹底

奈良県士会会員の情報を管理していくためのシステムを徹底して行った。より正確な情報の共有をめざし、会員管理システムの活用、ブロック事務局との連携を密に行った。入退会において、ブロック事務局との連携を行った。

会員管理システムを運用しているが、協会員と県士会との統一されていない為、同一運用は出来ていない。
2. 理事会運営

議事録を適切に作成している。

年 1 2 回行いその内、2 回は拡大理事会を開催した。
3. 情報の伝達

全施設 FAX 等のペーパーレス化を目指したが、SNS の運用には至っていない。
4. ホームページの更新とリニューアル
 - 1) 県士会ホームページにおいて、研修会情報や部局情報の更新を随時行った。
 - 2) ホームページのリニューアルを行った。

福利厚生

事務副局長 松山和樹

1. 新入会員の歓迎会
 - 1) 学会終了後の打ち上げ

当日の学会終了後の打ち上げの会計並びに司会を担当し、啓発委員会と協力して行った。
 - 2) PT ・ OT ・ ST 合同ボーリング大会

2. 子育て支援

1) 出産に伴う会費補助

会員の出産に伴う次年度の会費免除を行った。

3. 地域で働く作業療法士の支援

1) 奈良県作業療法士会から各会員へ委託した事業についての作業療法士総合保険への補助を行った。

広報部

広報部長 前岡伸吾

1. 広報誌「まほろば」の発行年4回(5月、9月12月2月)行った。

1) まほろばの原稿を依頼した。

2) まほろばの編集、印刷依頼、発送準備を行った。

2. 年賀状の作成

1) 年賀状のデザイン作成を行った。

2) 都道府県作業療法士会事務局、奈良県内の各種団体へ送付した。

学術部

学術部長 辰己一彦

事業報告

1. 奈良県作業療法学会査読体制の見直しを行った

1) 査読実務のマネジメントを行う部員の養成

2) 部局員への査読体制の周知を図った。

3) 分野別査読委員の選定

2. SIGの管理

発達分野でのSIGの認定を行った。

3. 研究発表に関する勉強会を開催した

1) 一般演題、事例報告の要項説明

2) 研究に関する基礎知識と文献検索

3) 研究計画法の講習会

対象：1年目から5年目までのOTを対象

学術部員：身体障害、精神障害、発達障害、老年・地域の代表者を立てて実施した。

第1回勉強会 8月25日 演題募集要項、ポスター発表について

第2回勉強会 8月29日 研究課題検討、研究プロセス、文献レビューについて

第3回勉強会 9月25日 近畿学会プレ発表会

第4回勉強会 11月27日 統計分析について

第5回勉強会 1月29日 抄録作成について、研究計画について

第6回勉強会 2月26日 抄録内容確認

4. 研究助成委員会

委員会会議実施(2回)

研究費助成申請1件、検討会議実施

1. 現職者共通研修

以下、現職者共通研修10テーマ中、10テーマを実施した。

- 平成29年6月15日 : 作業療法生涯教育概論 (参加者27名)
講師: 木納潤一先生 (秋津鴻池病院)
- 平成29年7月20日 : 事例報告と事例研究 (参加者22名)
講師: 大西和弘先生 (秋津鴻池病院)
- 平成29年9月12日 : 保健・医療・福祉と地域支援 (参加者14名)
講師: 西井正樹先生 (白鳳短期大学)
- 平成29年9月28日: 作業療法の可能性 (参加者22名)
講師: 前岡伸吾先生 (天理よろづ相談所病院)
- 平成29年10月5日 : 作業療法における協業・後輩育成 (参加者29名)
講師: 坪内善仁先生 (秋津鴻池病院)
- 平成29年10月19日 : 職業倫理 (参加者20名)
講師: 南庄一郎先生 (やまと精神医療センター)
- 平成29年11月30日 : 日本と世界の作業療法の動向 (参加者29名)
講師: 木納潤一先生 (秋津鴻池病院)
- 平成30年2月15日 : 実践のための作業療法研究 (参加者20名)
講師: 東條秀則先生 (秋津鴻池病院)
- 平成30年3月1日 : 事例検討 (参加者18名)・事例報告 (参加者10名)
講師: 大西和弘先生 (秋津鴻池病院) 坪内善仁先生 (秋津鴻池病院)

2. 現職者選択研修 (身体障害領域)

- 平成29年11月26日: 現職者選択研修—精神障害領域 (参加者31名)
講座: 精神障害作業療法の基礎知識 講師: 坂井一也 先生 (星城大学)
講座: 精神障害作業療法の展開方法 講師: 南庄一郎先生 (やまと精神医療センター)
講座: 精神障害作業療法の実践 講師: 立松麻記子先生 (総合心療センターひなが)
講座: 精神障害作業療法関連のトピックス 講師: 木納潤一先生 (秋津鴻池病院)

3. その他

- 県土会員の生涯教育手帳管理
- 事例報告研修制度の管理運営、及び事例登録推進

1. 研修事業

1) 事業部セミナー

1. 「高次脳機能と運転適性」

講師: 藤田佳男先生 (千葉県立保健医療大学健康科学部リハビリテーション学科)

日時: 平成29年4月16日 (日)

場所: 奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：53名

2. 「認知症者の暮らしを支える支援」

講師：松浦篤子先生（荒尾こころの郷病院）

日時：平成29年9月10日

場所：秋津鴻池病院

参加者：26名

3. 「作業でつなく組織マネジメント」

講師：澤田辰徳先生（東京工科大学医療保健学部）

日時：平成29年11月5日

場所：秋津鴻池病院

参加者：36名

※「第15回IT機器レンタル事業 作業療法士が行うIT活用支援説明会」

平成29年 日本作業療法士協会 福祉用具対策委員会・奈良県作業療法士会共催

講師：OT協会制度対策福祉用具対策委員会委員 10名

日時：平成29年5月20日（土）21日（日）

場所：やまと会議室（奈良市登大路町36 近鉄奈良駅周辺）

2) スキルアップセミナー（全て県士会員は無料）

・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅰ」

講師：前岡伸吾先生 天理よろづ相談所病院白川分院

日時：平成29年5月18日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：25名

・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅱ」

講師：前岡伸吾先生 天理よろづ相談所病院白川分院

日時：平成29年6月1日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：27名

・「脳卒中患者の上肢麻痺に対する作業療法」

講師：北別府慎介先生 西大和リハビリテーション病院

日時：平成29年6月22日

場所：西大和リハビリテーション病院

参加者：51名

・「作業療法の現場で活かせる物理療法～神経筋電気刺激を中心に～」

講師：北別府慎介先生 西大和リハビリテーション病院

日時：平成29年6月29日

場所：西大和リハビリテーション病院

参加者：37名

・「老年期の作業療法 ～医療・介護連携を見据えた取り組み～」

講師：清藤怜子先生 介護老人保健施設 鴻池荘

日時：平成29年7月13日

場所：秋津鴻池病院

参加者：29名

- ・「認知症と作業療法 ～行動・心理症状の捉え方～」

講師：千葉亜紀先生 秋津鴻池病院

日時：平成29年7月27日

場所：秋津鴻池病院

参加者：38名

- ・「読み書きの問題に対する作業療法支援」

講師：高畑脩平先生 白鳳短期大学

日時：平成29年9月7日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：35名

- ・「脳卒中後の麻痺側上肢に対する課題志向型練習の実際」

講師：塩田大地先生 西大和リハビリテーション病院

日時：平成29年9月21日

場所：西大和リハビリテーション病院

参加者：49名

- ・「手指機能障害への作業療法Ⅰ」

講師：毛利陽介先生 白鳳短期大学

日時：平成29年10月26日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：34名

- ・「手指機能障害への作業療法Ⅱ」

講師：毛利陽介先生 白鳳短期大学

日時：平成29年11月2日

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

参加者：37名

- ・「作業に焦点を当てる」

講師：東條秀則先生 秋津鴻池病院

日時：平成29年12月7日

場所：秋津鴻池病院

参加者：29名

- ・「上肢機能障がいへの介入につなげる胸郭・体幹へのアプローチ」

講師：大西和弘先生 秋津鴻池病院

日時：平成29年12月21日

場所：秋津鴻池病院

参加者：28名

2. 啓発事業

1) 外部啓発

- ・家族会

奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、家族会への在宅療養訪問相談

平成 29 年 7 月 5 日（水）大和郡山市

平成 29 年 9 月 13 日（水）生駒郡

平成 29 年 9 月 20 日（水）生駒郡

・ひまわり会（奈良市パーキンソン病患者会）

平成 29 年 5 月 16 日（火）講演

・春うらら会（奈良市神経難病家族会）

平成 29 年 11 月 21 日（火）講演

・難病支援関連

研修会

平成 29 年 12 月 17 日（日）

SMA 難病コミュニケーション支援講座参加

平成 29 年 12 月 15 日（金）

奈良市保健所 難病関係職員研修会

「訪問看護ステーションにおけるコミュニケーション支援の取り組み」

講師：星合直子

平成 30 年 1 月 24 日（水）

中和保健所 レスパイト病院連絡会

「神経難病疾患に対する在宅でのコミュニケーション支援について」

講師：倉賀野藍子

平成 30 年 3 月 16 日（木）

奈良県難病相談支援センター

平成 29 年度神経難病医療ネットワーク 難病医療従事者研修会 講演

「コミュニケーション支援活動の実際」～想いをつなぐコミュニケーション～

講師：大西和弘

神経難病患者様在宅訪問

平成 29 年 4 月 5 日（水）奈良市在宅訪問 奈良市保健所保健師同行訪問

平成 29 年 4 月 8 日（土）桜井市在宅訪問

平成 29 年 4 月 26 日（水）奈良市在宅訪問

平成 29 年 5 月 1 日（月）奈良市在宅訪問

平成 29 年 5 月 16 日（火）奈良市在宅訪問

平成 29 年 6 月 14 日（水）天理市在宅訪問郡山保健所保健師同行訪問

平成 29 年 6 月 24 日（土）天理市在宅訪問

平成 29 年 6 月 29 日（木）宇陀市在宅訪問

平成 29 年 7 月 19 日（水）天理市在宅訪問

平成 29 年 9 月 9 日（土）桜井市在宅訪問

平成 29 年 12 月 6 日（水）天理市在宅訪問

奈良県難病支援センター 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者

大西和弘、星合直子、倉賀野藍子、坪内善仁

奈良市保健所 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者

大西和弘、星合直子

・介護の日

平成 29 年 11 月 3 日（金） リハビリ相談ブース参加 なら 100 年会館 9 時～17 時

・バリアフリー展

平成 29 年 4 月 21 日 22 日 バリアフリー展 相談コーナー参加

平成 29 年 9 月 9 日（土） バリアフリー展会議出席 大阪府作業療法士会事務所

・その他

奈良県作業療法士会ホームページ内、事業部ブログ配信

平成 29 年度 奈良県高次脳機能障害支援体制委員会 平成 29 年 8 月 29 日（火）

2) 内部啓発

1.啓発委員会会議 4/6、5/10、8/31、9/25、10/18、12/21、2/19 計 7 回開催

2.作業療法の日

平成 29 年 6 月 11 日（日） 「第一回作業療法の日」

場所：橿原万葉ホール

来場者数：179 名（うち一般 87 名会員 92 名）。

3.リレーマラソン参加

平成 29 年 11 月 10 日 「飛鳥 Run×2 マラソン」

場所：かしはら運動公園

リレーマラソンに県士会ポロシャツ作成・着用のもと、奈良県作業療法士会名義で参加した。

4.学生向け啓発ポスターの作成

学生向けに作業療法士を目指す人材確保のための啓発ポスター作成

5.平成 30 年度 JAOT モデル事業への企画立案

平成 30 年度 JAOT モデル事業「作業療法士を目指す人材の確保に関する取り組み」に
「絵本で伝える作業療法」の企画立案を行なった。

3) 委員会活動他

・生涯教育制度推進担当者会議

平成 29 年 11 月 11 日（土）12 日（日） 東京

保健福祉部

保健福祉部長 前岡伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知

1) 診療報酬・介護報酬改定に向けての情報収集を行った。

2) 協会主催の研修会への参加を行った

2. 診療報酬に関する研修会の実施

1) 平成 30 年度診療報酬・介護報酬同時改定についての研修会を実施した。

3. 奈良県保険医協会との連携

1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行った。

北和ブロック

北和ブロック長 渡邊俊行

1. 北和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。

2. 北和ブロック会議を開催した。

議 題：平成 29 年度北和ブロック研修会と第 37 回近畿作業療法学会の運営について

日 程：平成 29 年 9 月 12 日

3. 北和ブロック研修会を開催した。

日 程：平成 30 年 3 月 6 日

テーマ：「発達障がいの作業療法～TEACCH プログラムの理論と実践～」

講師：竹本 里美先生（東大寺福祉療育病院 認定作業療法士）

北野 真奈美先生（関西学研医療福祉学院 認定作業療法士）

参加者数：23 名

4. 第 37 回近畿作業療法学会の会場係等を担当した。

5. 災害時安否確認の北和ブロック連絡網を作成・試行した。

中和ブロック

中和ブロック長 北別府慎介

1. 中和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。

2. 中和ブロック会議を開催した。

日時：平成 29 年 8 月 23 日（水）

議 題：第 37 回近畿作業療法学会実行委員会、第 10 回奈良県作業療法学会実行委員会、平成 29 年度中和ブロック研修会準備について

日時：平成 29 年 11 月 29 日（水）

議題：第 10 回奈良県作業療法学会実行委員会、平成 29 年度中和ブロック研修会準備について

日時：平成 30 年 2 月 14 日（水）

議題：第 10 回奈良県作業療法学会実行委員会

3. 第 37 回近畿作業療法学会の進行係等を担当した。

4. 中和ブロック研修会を開催した。

日時：平成 30 年 2 月 7 日（水） 19:00～20:30

会場：西大和リハビリテーション病院

タイトル：認知症高齢者に対する評価のポイントと介入までのプロセス

講師：田中 寛之先生（社会医療法人北斗会 さわ病院 作業療法士）

参加者：68 名

4. 災害時安否確認の中和ブロック連絡網を作成および試行した。

南和ブロック

南和ブロック長 田中陽一

1. 南和ブロック会員の入退会・異動、会費納入の管理を行った。

2. 南和ブロック会議を開催した。

議 題：南和ブロック研修会について

日 程：平成 29 年 7 月 25 日

3. 第 37 回近畿作業療法学会の受付係等を担当した。

4. 南和ブロック研修会を開催した。

内容：各施設・各領域の作業療法実践についての講義を通して、グループディスカッションを行う。

日 程：平成 29 年 11 月 19 日

参加者：18 名

5. 災害時安否確認の南和ブロック連絡網を作成した。

各種委員会

(常設委員会)

倫理委員会

委員長 西井正樹

奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口

規約検討委員会

委員長 木納潤一

5ヶ年計画委員会

委員長 西井正樹

以下4つの委員会課題について検討し、担当部署に引き継ぎを行った。

1. 研修関連 (SIG、現職者基礎研修後のフォロー、中堅対象研修会の開催など)
2. 会員確保 (特に女性会員について)
3. 学術 (学会誌発行、研究助成など)
4. 組織図

女性会員支援委員会・子育て支援委員会

委員長：松本未来子

1. 委員会会議を開催した。

平成29年10月5日(木)：参加者4名 平成30年1月12日(金)：参加者5名

2. 女性支援に関するアンケートを実施した。

奈良県作業療法士会所属施設への配布 回答者：89名(会員・非会員 問わず)

3. 女性会員支援委員会主催研修会を開催した。

平成30年2月25日(日) 参加者：14名

生活行為向上マネジメント委員会

委員長 西井正樹

1. 研修会の開催

1) 近畿連絡協議会との共催

・基礎・アドバンス研修(2回)

2) 奈良県作業療法士会での研修会の開催

・基礎研修(2回)および事例検討会(6回)を行った。

2. 日本作業療法士協会主催 会議の参加

1) 推進会議

・年1回の推進会議に参加した(2名参加)。

2) 指導者会議

・年1回の指導者会議に参加した(1名参加)。

認知症支援委員会

委員長 東條秀則

1. 奈良県作業療法士会認知症支援委員

7月8日 第1回委員会 各ブロック情報共有

2. 日本作業療法士協会関連

1) 認知症作業療法推進委員会議

11月18日19日 東京 2名の委員出席

1月28日、2月25日 南和・北和 2会場でアップデート研修開催

3、各行政との協力関連

1) 吉野町

①認知症予防サロン 5月～3月・3会場・11回ずつ 6名の委員が参加

②認知症サポートガイド 地域ケア会議に出席・検討 完成

2) 大淀町

①介護予防プロジェクト会議 月1回 2名の委員参加

②高校生講座 8月29日 大淀高校リハビリ講義 1名の委員参加

③認知症サポーター養成講座 11月9日 大淀高校1年生 2名の委員参加

④認知症カフェ やすらぎカフェ 11月11日 2名の委員参加

⑤認知症講座 3月20日 2名の委員参加

3) 檀原市

①介護予防セミナー認知症予防 7月～2月 7会場7回 各1～2名の委員参加

4) 宇陀市

①知ってあんしん認知症講座 11月～3月 月1回2名ずつ委員参加

5) 田原本町

①認知症の人と家族のつどい 3月5日 2名の委員参加

②介護予防塾 認知症予防についての講座 参加調整

6) 御所市

①認知症初期集中支援チーム検討委員会 11月28日 1名の委員参加

災害支援対策委員会

委員長 東條秀則

1. 奈良 JRAT

1) JIMTEF 災害医療研修ベーシックコース

6月3日～4日 神戸 1名受講

2) 大規模災害リハビリテーション支援チーム本部運営ゲーム

11月25日～26日 大阪 会長と共に参加

3) JRAT 近畿ブロック会議

3月18日 出席

2. 近畿作業療法士連絡協議会 災害支援対策事業

1) 平成28年熊本地震活動報告

3回の会議で検討を重ね作成

3. 災害時士会内安否確認

1) OT協会と協力し、災害発生を想定した訓練の実施

2月3日 訓練実施 発災3日目で全会員中52%の安否確認

地域包括ケアシステム委員会

委員長 安井敦史

1. 委員間での連絡体制の強化と情報共有

- 1) 毎月定例の委員会会議を開催し、委員間での地域包括ケア・総合事業に関する知識の共有を行った。
2. 行政との相談体制の構築を図る
 - 1) 奈良県庁や市町村との連携
3. 地域包括ケア・総合事業に資する人材育成
 - 1) 会員向け研修会・多職種合同での研修会の企画・開催
 県の「地域医療介護総合確保基金」事業を活用し「地域包括ケアOT推進リーダー養成研修」を実施
 - ・自立支援型地域ケア会議研修：8月18日（金）78名参加
 - ・認定研修Ⅰ：平成29年10月14日（日）18名参加
 - ・認定研修Ⅱ：平成29年12月10日（日）45名参加
 - ・総合事業研修：平成30年1月19日（金）43名参加
 - ・総合事業でのOTの活用：平成30年2月22日（木）
4. 市町村での「新しい総合事業」への参画
 - 1) 複数の市町村事業への参画・協力と人材推薦を実施
 - ・厚生労働省：「介護予防活動普及展開事業」モデル市町村支援研修
 - ・奈良県：市町村向けトップセミナー 7月14日（火）
 地域包括ケア推進セミナー 2月16日（金）
 県知事との意見交換 2月1日（木）
 - ・奈良市：「西ブロック顔の見える連携」準備会議、研修会出席
 - ・広陵町：総合事業における「住民主体の集いの場」人材推薦
 総合事業における「判定会議」人材推薦
 - ・河合町：総合事業における「地域ケア会議」人材推薦
 - ・三郷町：「健康サポーター養成講座」講師派遣
 - ・橿原市：自立支援型地域ケア会議立ち上げ支援 人材推薦
 - ・御杖村：「訪問型事業」人材推薦
 - ・香芝市：自立支援型地域ケア会議立ち上げ支援 人材推薦
 - ・斑鳩町：介護予防ボランティア養成講座 講師派遣
5. 日本作業療法士協会モデル事業の実施
 - ・自立支援型地域ケア会議 助言者育成 DVD の作成（200枚作成）
 - ・47委員会にて進捗報告を実施

特別支援教育委員会

委員長 高畑脩平

1. 冊子作成会議

2. 市民向け研修会

平成30年2月18日 開催 参加者100名

表彰委員会

委員長 西井正樹

1. 優秀学生賞の選出

2. 学会優秀演題賞の選出

（特設委員会）

第 37 回近畿作業療学会実行委員会

委員長 東條秀則

10月1日 開催 634名が参加

【自治体および各種団体より依頼された委員】

【奈良県】

- 奈良県発達障害就労支援連絡協議会委員
(宮崎瑠璃子)
- 奈良県高次脳機能障害支援体制委員会
(大西和弘)

【奈良市】

- 奈良市介護給付等の支給に関する審査会委員
(宮崎瑠璃子、北野真奈美、前岡伸吾、田中祥子、杉山有希、公文梨花)
- 介護認定審査会委員
(西井正樹・大西和弘)

【奈良県難病支援センター】

- 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者
(大西和弘、星合直子、倉賀野藍子、坪内善仁)

【奈良市保健所】

- 在宅療養難病患者コミュニケーション支援協力者
(大西和弘、星合直子)

【王寺町】

- 認知症初期集中支援チーム検討委員 (森友哉)

【他団体】

- 奈良脳外傷友の会あすか (北野真奈美)
- 奈良高次脳機能障害リハビリテーション講習会実行委員 (北野真奈美)

【平成 29 年度 (一社) 奈良県作業療法士会 優秀学生賞】

- 関西学研医療福祉学院 作業療法学科 3 年 尾西 敦子 (奈良東病院)

第三号議案 平成三十年度 事業計画

会長

会長 西井正樹

会長業務として以下のような活動を行う。

1. 日本作業療法士協会との連携
 - 1) 47 委員会の委員として参加する。
 - 2) 「協会員＝士会員」に向けた取り組みを推進する。
2. 行政との連携
 - 1) 県・市町村との関係を強化する。
3. 各種団体との連携
 - 1) 近畿連絡協議会との連携を強化する。
 - 2) 奈良県理学療法士協会・奈良県言語聴覚士会との連携を強化する。
 - 3) 奈良県医師会・奈良県看護協会等医療福祉関連団体と連携を強化する。
4. 啓発活動
 - 1) 「作業療法士になりたい」人を増やす。
ポスター作成や協会のモデル事業に協力する。
 - 2) 士会員に向けた啓発活動。
「入ってよかった県士会」と思える企画を提案する。
会員向け研修会などでの啓発活動を推進。
若い作業療法士の積極的活用。

副会長

副会長 東條秀則

会長・副会長との業務分担として以下のような活動を行う。

1. 日本作業療法士協会関連
 - 1) 日本作業療法士協会定時社員総会 出席
OT 協会の県の代表としての代議員
2. 公益活動
 - 1) 奈良県医師会・奈良県医療推進協議会
人選調整
3. 啓発活動
 - 1) 奈良県高等学校出張講座
啓発部と合同にて実施

副会長

副会長 大西和弘

会長を補佐し、三役会の開催・近畿連絡協議会の出席など対外的な活動を行う。

事務局

事務局長 毛利陽介

財務部

1. ブロック事務局 財務と連携し会費納入に対し迅速に対応する。
2. ブロック事務局 財務と連携し会費納入率の向上を図る。
3. 各部局と連携し、予算・支出を管理する。

4. 税理士と連携し、法令に準じた決算書を作成し納税を行う。
5. 財務会議を開催する。
6. 県士会データと会員管理システムにおけるデータの統一化を図る。

総務部

事務

事務副局長 松山和樹

1. 会員情報管理の徹底
2. 理事会運営
3. 情報の伝達
 - 1) 全施設 FAX 等のペーパーレス化をめざすために、SNS を活用していく。
 - 2) 県士会ホームページにおいて研修会や部局情報の更新、問い合わせメールへの対応を行う。
4. 協会員=県士会に向け、説明を行い、来年度総会で定款変更を目指す

福利厚生

松山 和樹

1. 会員の慶弔
2. 新入会員の歓迎会
3. 子育て支援
 - 1) 出産に伴う会費補助
4. 作業療法士総合保険への補助
5. 奈良県 PT・OT・ST ボーリング大会の開催

表彰委員会

委員長 毛利陽介

1. 優秀学生賞の選出

北和ブロック

北和ブロック長 渡邊俊行

1. 北和ブロック会議の実施（平成 30 年 6 月・8 月の 2 回予定）
北和ブロック研修会の企画・準備を内容とした会議を実施する。
2. 北和ブロック研修会の開催（平成 30 年 10 月の予定）
3. 北和ブロック事務局機能の徹底
 - 1) 北和ブロックメーリングリストを活用し、事務連絡等を迅速に行う。
 - 2) 北和ブロック会員の入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う。
 - 3) 災害時緊急連絡のブロック内システムを再構築する。
4. 第 11 回奈良県作業療法学会の準備（平成 30 年 12 月・平成 31 年 2 月の 2 回予定）
2019 年度（平成 31 年度）開催の上記学会において、企画・運営の準備を行う。

中和ブロック

中和ブロック長 北別府慎介

1. 中和ブロック会議の実施（3 回/年）
奈良学会実行委員会および、中和ブロック研修会の企画・準備を行う。
2. 第 10 回奈良県作業療法学会の開催

3. 中和ブロック事務局機能の徹底

- 1) 中和ブロックミーリングリストによる事務連絡等を迅速に行う。
- 2) 中和ブロック会員の入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う。

南和ブロック

南和ブロック長 田中陽一

1. 南和ブロック会議の実施

主に南和ブロック研修会の企画・準備を内容とした会議を実施する。

2. 南和ブロック研修会の開催

3. 南和ブロック事務局機能の徹底

- 1) 南和ブロックミーリングリストによる事務連絡等を迅速に行う。
- 2) 南和ブロック会員の入退会・異動、年会費納入の正確な管理を事務局と財務部の連携により行う。

事業局

事業局長 大西 和弘

1. 研修事業

1) 事業部セミナー

平成30年 事業部セミナー

1. 「身体障害と生活をどう考えるか～代償はどう考える（介助・環境・身体の治療）～」

講師：一木愛子先生（神奈川県総合リハビリテーションセンター）

日時：平成30年5月27日（日）9：30～12：40

場所：秋津鴻池病院 研修棟

2. （仮題）「作業関連（OT介入、質的研究）」

講師：藤原瑞穂先生（神戸学院大学）

日時：平成30年上半期～下半期開催予定

場所：秋津鴻池病院 研修棟

3. 「コミュニケーション支援機器～長年の支援経験を踏まえて～（仮題）」

講師：松尾光晴氏（パナソニックエイジフリー）

日時：平成30年上半期開催

場所：秋津鴻池病院 研修棟

※詳細は今後確定次第アナウンス予定

2) スキルアップセミナー（全て県士会員は無料）

・「上肢機能障がいの介入につなげる肩関節の評価とアプローチⅠ・Ⅱ」

講師：大西和弘先生 秋津鴻池病院

日時：平成30年4月29日（日）10：00～11：30、11：40～13：10

場所：秋津鴻池病院 研修棟

・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅰ」

講師：前岡伸吾先生 天理よろづ相談所病院白川分院

日時：平成30年5月17日（木）19：00～20：30

場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

・「高次脳機能障害の基礎知識と治療介入Ⅱ」

講師：前岡伸吾先生 天理よろづ相談所病院白川分院
日時：平成30年5月24日（木）19：00～20：30
場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

・「脳卒中患者の上肢麻痺に対する作業療法」

講師：北別府慎介先生 西大和リハビリテーション病院
日時：平成30年6月14日（木）19：00～20：30
場所：西大和リハビリテーション病院

・「脳卒中患者の画像所見の読み方」

講師：北別府慎介先生 西大和リハビリテーション病院
日時：平成30年6月21日（木）19：00～20：30
場所：西大和リハビリテーション病院

・「老年期の作業療法～医療・介護連携を見据えた取り組み～」

講師：澤田怜子先生 介護老人保健施設 鴻池荘
日時：平成30年7月5日（木）19：00～20：30
場所：秋津鴻池病院

・「認知症の作業療法評価と環境調整～ADL、行動・心理症状を中心に～」

講師：千葉亜紀先生 秋津鴻池病院
日時：平成30年7月19日（木）19：00～20：30
場所：秋津鴻池病院

・「教育・保育現場での作業療法支援」

講師：高畑脩平先生 白鳳短期大学
日時：平成30年9月20日（木）19：00～20：30
場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

・「手指機能障害への作業療法Ⅰ」

講師：毛利陽介先生 白鳳短期大学
日時：平成30年10月18日（木）19：00～20：30
場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

・「手指機能障害への作業療法Ⅱ」

講師：毛利陽介先生 白鳳短期大学
日時：平成30年10月25日（木）19：00～20：30
場所：奈良県総合リハビリテーションセンター

・「作業に焦点を当てる（仮題）」

講師：東條秀則先生 秋津鴻池病院
日時：平成30年11月8日（木）19：00～20：30
場所：秋津鴻池病院

※詳細は追ってホームページ及びメーリングリスト等でアナウンス予定

2. 啓発事業

- 1) 外部啓発
 - ・家族会

奈良県パーキンソン病友の会奈良支部、ひまわり会、春うらら会他家族会支援

・難病支援関連

研修会への参加

奈良県難病支援センター及び県内保健所における難病患者への支援

家族会支援

・介護の日

平成30年10月27日(土) リハビリ相談ブースへの参加 (PTST 士会合同)

・バリアフリー展

平成30年4月19日20日21日 参加

・その他

奈良県高次脳機能障害支援体制検討委員会

3. 委員会活動他

- ・生涯教育制度推進担当者会議出席

学術局

学術局長 辰己一彦

教育部

教育部長 木納潤一

1. 生涯教育基礎研修

1) 現職者共通研修を以下の要領で実施予定。

○日時： H30.6月17日(日) 9:30~11:00 会場： すみれホール

講座： 作業療法生涯教育概論 講師： 木納潤一 先生

○日時： H30.7月1日(日) 9:30~16:30 会場： すみれホール

講座： 事例報告と事例研究 講師：大西和弘 先生

職業倫理 講師：南庄一郎 先生

日本と世界の作業療法の動向 講師：松岡剛 先生

作業療法の可能性 講師：前岡伸吾 先生

○日時： H30.9.29(土) 19:00~20:30

H30.9.30(日) 9:20~15:30 会場： かつらぎの森

講座： 事例検討会1 事例検討会2 講師：坪内善仁 先生

保健、医療、福祉と地域支援 講師：西井正樹 先生

実践のための作業療法研究 講師：坪内善仁 先生

作業療法における協業・後輩育成 講師：上嶋倫子 先生

※合宿形式で開催する予定

○日時： H31.2月頃

講座： 事例検討会

2) 現職者選択研修(身体障害領域)

○日時： H30.11.25(日) 9:30~16:30 会場： すみれホール

講座： 身体障害領域の基礎知識	講師：東條秀則 先生
急性期の作業療法	講師：坪内善仁 先生
回復期の作業療法	講師：大西和弘 先生
生活期・終末期の作業療法	講師：星合直子 先生

2. 生涯教育手帳管理
3. 事例報告登録研修制度の実施と事例登録の推進
4. 生涯教育基礎研修修了者への修了申請手続きの促進
5. 生活行為向上マネジメントに関連する研修会の支援

生活行為向上マネジメント推進委員会

委員長 北別府慎介

1. 生活行為向上マネジメント基礎研修会の開催（2回/年）
2. 生活行為向上マネジメント事例検討会の開催（5回/年）
3. 外部向けの研修会の開催
居宅介護支援事業所の介護支援専門員やリハ関連職種に向けての研修会を開催する。

学術部

部長 辰己一彦

1. 奈良県作業療法士会学術部の査読体制の見直し
 - 1) 査読実務のマネジメントを行う部員の養成
 - 2) 部局員への査読体制の周知を図る。
 - 3) 分野別査読委員の選定
2. SIG の管理
3. 研究助成費採択，拠出
研究助成委員会の会議にて、応募者の研究の進捗状況を確認し支援する。
4. 研究発表に関する勉強会開催
 - 1) 一般演題，事例報告，事例登録の要項説明
 - 2) 研究に関する基礎知識と文献検索
 - 3) 研究計画法の講習会
対象：1年目の若手 OT からベテラン OT を対象とする。
目的：会員の作業療法実践の質的向上を図り，根拠資料を作成し成果を内外に示す。
日本作業療法士学会，近畿作業療法士学会，奈良県作業療法士学会への演題登録
生涯教育制度の「認定作業療法士」申請の要件である事例登録を行う。
学術部員：身体障害，精神障害，発達障害，老年・地域の代表者を立てる。
勉強会全6回実施予定
5. 各委員会の管理，運営補助
身障，発達，老年・地域，精神，運転，福祉用具，研究助成，学術誌発行

各委員会事業計画

福祉用具相談支援委員会

委員長 林 朋一

1. 福祉用具相談窓口
 - 1) 奈良県士会員
 - 2) 行政, 医療機関, 居宅介護支援事業所

2. 福祉用具研修会
奈良県作業療法士会員向けの福祉用具勉強会実施
人数: 10名~20名
福祉用具業者と協力しながら最新福祉用具, 福祉用具使用の知識などの研修会
参加費: 1000円ポイント対象

3. 福祉用具相談窓口体制整備, 研修会の為の会議
年3回実施

運転委員会

委員長 林 朋一

1. 障害者運転協会フェスティバルへの参加
 - ・11月開催
 - ・3名参加予定
2. 運転事業に関する方針の検討, のための会議
年3回実施予定
3. 県内の運転事業に関するアンケートの実施
県内の施設に向けて, 運転に関するリハビリの現状把握のためのアンケート実施

身体障害分野

担当分野責任者 金星 聡

1. 身体障害領域の事例検討会を開催する。
2. 1についての企画会議を開催する。

地域・老年期分野

担当分野責任者 片岡 歩

1. 奈良作業療法学会査読
 - 1) 演題査読の手引き作成
 - 2) 演題申し込み, 査読要項の整理
2. 地域における作業療法士が使用するマニュアル作成の検討
目的: 地域における他職種との連携について特に新人の作業療法の連携円滑化
(作成例: 他職種との連携における使わない方が良い用語集など)
時期: 業務やその他の委員の活動の兼ね合いもあり, 完成は次年度としている。
実施: 目的に対し, 実際にどのような内容にするのか会議にて検討する。
3. 学術研究部開催の地域における事例検討会の開催
目的: 地域領域で活躍する作業療法士のスキルアップ及び知識の共有
時期: 上半期に実施予定
実施: 「否定しない事例検討会」をテーマに症例検討を実施しオブザーバーの先生にもアドバイスを頂く。
現状のアプローチの仕方+新たな視点でのアプローチ方法を参加者全員で話し合い出た意見を全員で共有する。

発達分野 特別支援委員会

委員長：高畑脩平 副委員長：宮崎瑠理子、土井一輝

日本作業療法士協会からの要請

1. 教育委員会への働きかけ
2. 県士会員の育成

平成 30 年度は、協会の方針に沿いながら以下の事業を実施する。

1. 「冊子作成を通じた会員の Skill up 作戦」

- ・ 幼稚園/保育園・小学校での困り感に対して、作業療法の視点を生かした支援方法を提示した冊子を作成する。7 月に第 1 弾、翌年 2 月に第 2 弾をリリースできるように進める。月に 1 回の会議を通して作成を進める。

2. 「特別支援教育委員会主催 市民向け研修会」

保護者・支援者向けの研修会を年に 1 回の頻度で実施する。

「事例検討会実施」

広報・啓発局

局長 前岡伸吾

啓発部

委員長 松山和樹

外部・内部啓発

1. 平成 30 年度日本作業療法士協会モデル事業

「作業療法士の人材確保のための事業」として「絵本で伝える作業療法」の企画・運営を行う。

特設委員会を設立し、委員と共に絵本の作成・アウトリーチを企画・実施する。

2. リレーマラソンへの参加

橿原市で秋期に開催される「飛鳥 RUN×2 マラソン」に奈良県作業療法士会名義で参加する。

3. 「第 2 回作業療法の日」の企画

次年度開催予定である「第 2 回作業療法の日」の企画・運営の準備を行う。

女性会員支援委員会・子育て支援委員会

委員長 松本未来子

1. 委員会会議の開催方法の検討

1) 年 6 回開催予定。下半期 3 回は web カメラを用いて web 会議を実施する。

2) SNS での連携を積極的に活用し、時間の有効活用が出来る方法を実施・公表する。

2. Web 会議の導入およびマニュアル作成

県士会活動への「参加」の選択肢を増やし、他委員会でも導入出来るようマニュアルを作成する。

3. 日本作業療法士協会誌「窓」への投稿

委員 3 名でリレー方式で執筆予定

4. 「まほろば」へ女性支援に関するアンケート結果の公表

5. 日本作業療法士協会・他府県士会での取り組みの調査

先駆的に取り組んでいる士会を参考に、奈良県で出来る取り組みを会議にて検討する。

広報部

広報部長 前岡伸吾

1. 広報誌「まほろば」の発行を年4回（5月、9月12月2月）行う。
 - 1) まほろばの原稿を依頼する。
 - 2) まほろばの編集、印刷依頼、発送準備を行う。
2. 年賀状の作成を行う。
 - 1) 年賀状のデザイン作成を行う。
 - 2) 都道府県作業療法士会事務局、奈良県内の各種団体へ送付する。
3. 奈良県士会の発送作業の業務を担います。
 - 1) 必要に応じて発送作業の業務を担います。

地域局

局長 安井敦史

地域包括ケアシステム委員会

委員長 安井敦史

1. 人材教育体制の強化
 - 1) 奈良県士会認定者向け OJT 研修の実施
 - 2) 自立支援型地域ケア会議に特化した OJT 研修の実施
2. 行政との協働
 - 1) 士会での行政対応窓口の強化
 - 2) 新しい介護予防・日常生活支援総合事業への積極的参画
 - 3) 自立支援型地域ケア会議立ち上げ支援モデルの実施
 - 4) 奈良県庁、市町村との連携強化
3. 多職種との協働
 - 1) 多職種間での研修会実施
4. 県士会の取り組み状況の情報発信
 - 1) 奈良県での取り組みを他府県、多職種、県民への発信を強化する。

認知症支援委員会

委員長 千葉 亜紀

1. 奈良県作業療法士会認知症支援委員
 - 1) 7月・11月・3月 委員会開催を予定 各ブロック情報共有ならびに事業参加要請
 - 2) アップデート研修 年2回
 - 3) ステップアップ研修 年1回
2. 日本作業療法士協会関連

認知症作業療法推進委員会議

11月 東京 千葉、坪内2名の委員出席予定
3. 各行政との協力関連
 - 1) 吉野町
 - ①認知症初期集中支援チーム チーム員協力
 - 2) 大淀町
 - ①介護予防プロジェクト会議
 - ②高校生講座
 - ③認知症サポーター養成講座
 - ④認知症カフェ やすらぎカフェ

- ⑤認知症講座
- ⑥認知症初期集中支援チーム チーム員協力
- 3) 橿原市
 - ①介護予防セミナー 認知症予防
- 4) 宇陀市
 - ①知ってあんしん認知症講座
- 5) 田原本町
 - ①認知症の人と家族のつどい
 - ②介護予防塾 認知症予防についての講座
- 6) 御所市
 - ①認知症初期集中支援チーム検討委員会
- 7) 香芝市
 - ①認知症初期集中支援チーム チーム員協力
- 8) 下市町
 - ①認知症予防啓発講座

保健福祉部

保健福祉部長 前岡 伸吾

1. 日本作業療法士協会保健福祉部との情報の共有と会員への周知
 - 1) 定期的に配信される診療改訂に向けた情報を必要に応じてHPに掲載する。
 - 2) 平成30年の診療報酬・介護報酬同時改定に向けての情報収集を行う。
2. 奈良県保険医協会との連携
 - 1) 奈良県保険医協会と交流を深める中で情報収集や意見交換、研修会などへの参加を行っていく。
3. 保健福祉部会議の実施
 - 1) 年1回（平成30年12月）部局会議を実施する。

(常設委員会)

災害支援対策委員会

委員長 東條秀則

1. 奈良 JRAT
 - 1) 奈良 JRAT 会議 出席
 - 2) JRAT 近畿ブロック会議 出席、研修会 参加
 - 3) JIMTEF 災害医療研修ベーシックコース 人選・受講
2. 近畿作業療法士連絡協議会 災害支援対策事業
 - 1) 適時取り組む

倫理委員会

委員長 西井正樹

奈良県作業療法士会 倫理問題担当窓口

規約検討委員会

委員長 木納潤一

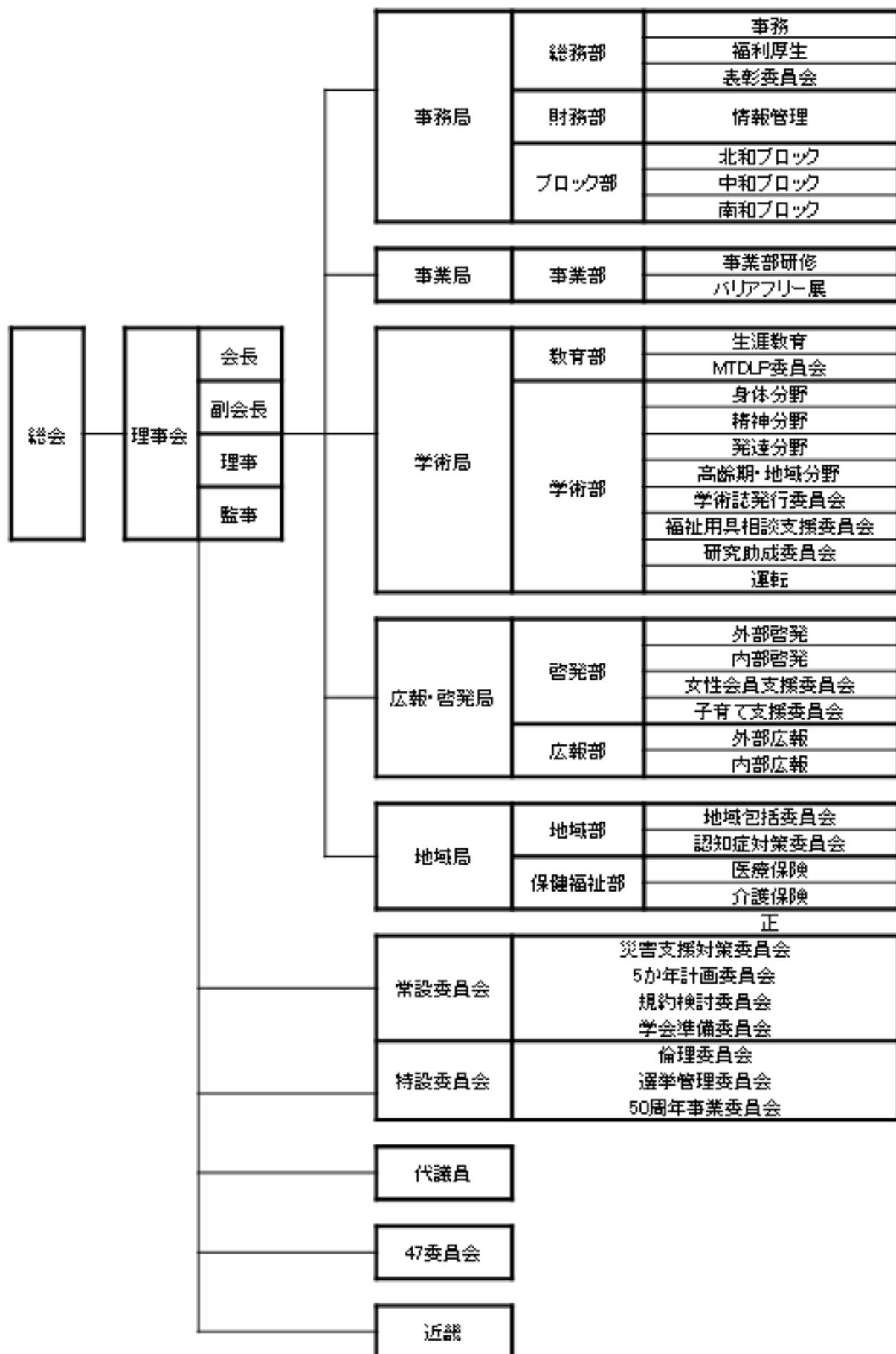
必要に応じて細則の作成・変更を行う。

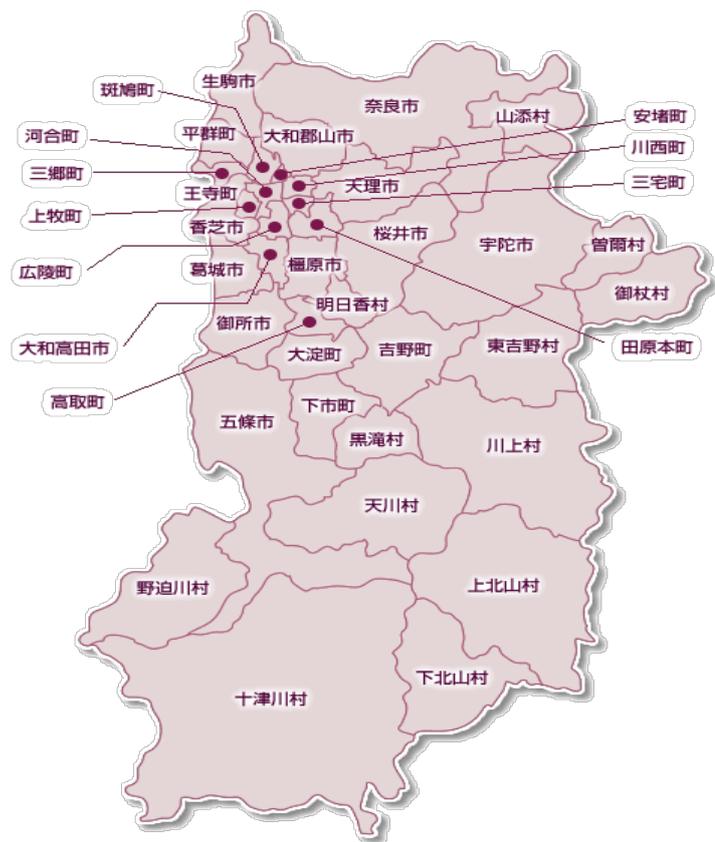
下記の4つの課題について、各種担当委員会と連携して確認していく。

1. 研修関連（SIG、現職者基礎研修後のフォロー、中堅対象研修会の開催など）
2. 会員確保（特に女性会員について）
3. 学術（学会誌発行、研究助成など）
4. 組織図

平成三十年度 予算計画

一般社団法人 奈良県作業療法士会 組織図





北和ブロック

奈良市 生駒市

中和ブロック

天理市 大和郡山市 生駒郡 北葛城郡 香芝市

南和ブロック

桜井市 五條市 宇陀市 大和高田市 橿原市 葛城市 御所市 高市郡
磯城郡 吉野郡